

## 令和5年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年1月31日

上場会社名 株式会社三東工業社 上場取引所 東  
 コード番号 1788 URL https://www.santo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 克実  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢森 貞行 TEL 077-553-1111  
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和5年6月期第2四半期の連結業績（令和4年7月1日～令和4年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和5年6月期第2四半期	3,717	—	346	—	348	—	229	—
令和4年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 令和5年6月期第2四半期 243百万円 (ー%) 令和4年6月期第2四半期 一百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和5年6月期第2四半期	374.06	—
令和4年6月期第2四半期	—	—

(注) 令和5年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和4年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和5年6月期第2四半期	4,846	3,063	62.7
令和4年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 令和5年6月期第2四半期 3,039百万円 令和4年6月期 一百万円

(注) 令和5年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和4年6月期の数値は記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和4年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
令和5年6月期	—	0.00	—	—	—
令和5年6月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 令和4年6月期期末配当金の内訳 普通配当45円00銭 特別配当25円00銭

### 3. 令和5年6月期の連結業績予想（令和4年7月1日～令和5年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	—	250	—	240	—	160	—	261.60

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 令和5年6月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料6ページ「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和5年6月期2Q	686,000株	令和4年6月期	686,000株
② 期末自己株式数	令和5年6月期2Q	72,478株	令和4年6月期	74,478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	令和5年6月期2Q	612,572株	令和4年6月期2Q	609,624株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

前第2四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新規求人倍率は2か月連続かつ大幅上昇、有効求人倍率は6か月連続で上昇、実態に近い就業地別の有効求人倍率は2か月ぶりに上昇しました。投資需要では、民間設備投資は減少が続き、住宅投資は貸家の増加に伴い全体ではほぼ横ばいとなりましたが、持家や分譲住宅の動きは鈍い状況が続いております。さらに公共投資も大幅減少となりました。このような状況の中、景気の現状は持ち直しの動きがやや弱まっていると見られます。

一方、建設業界につきましては、民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積は3か月連続で大幅減少、新設住宅着工戸数はほぼ横ばい、公共工事の請負金額は2か月ぶりに大幅減少となりました。

このような経済状況下、当社グループは、現場力の強化、経費削減及びリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,717百万円、営業利益346百万円、経常利益348百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益229百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①土木事業

土木事業の完成工事高は2,170百万円、セグメント利益211百万円となりました。

#### ②建築事業

建築事業の完成工事高は1,523百万円、セグメント利益121百万円となりました。

#### ③環境開発事業（※）

環境開発事業の売上高は22百万円、セグメント利益14百万円となりました。

（※）令和4年7月より不動産事業より改称しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、3,769百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,657百万円、受取手形・完成工事未収入金等が1,888百万円であります。

固定資産は、1,077百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産が745百万円、投資その他の資産が312百万円であります。

この結果、総資産は、4,846百万円となりました。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、1,706百万円となりました。主な内訳は、支払手形・工事未払金等が896百万円、未成工事受入金が565百万円であります。

固定負債は、77百万円となりました。

この結果、負債合計は、1,783百万円となりました。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,063百万円となりました。主な内訳は、資本金が849百万円、資本剰余金が630百万円、利益剰余金が1,669百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年10月31日に公表しました令和5年6月期第2四半期の連結業績予想値と決算値との差異が生じました。

なお、当該差異に関する開示は、本日（令和5年1月31日）公表の「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。今後の市場動向などを踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、重要性が増したため、株式会社古澤建設を連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,657,680
受取手形・完成工事未収入金等	1,888,273
販売用不動産	195,346
貯蔵品	1,089
その他	26,894
貸倒引当金	△140
流動資産合計	3,769,143
固定資産	
有形固定資産	745,235
無形固定資産	19,643
投資その他の資産	
その他	335,189
貸倒引当金	△22,698
投資その他の資産合計	312,491
固定資産合計	1,077,370
資産合計	4,846,513
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形・工事未払金等	896,279
未払法人税等	122,438
完成工事補償引当金	5,200
未成工事受入金	565,715
その他	116,656
流動負債合計	1,706,290
固定負債	
退職給付に係る負債	13,589
その他	63,588
固定負債合計	77,177
負債合計	1,783,467
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	849,500
資本剰余金	630,954
利益剰余金	1,669,587
自己株式	△166,587
株主資本合計	2,983,454
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	56,468
その他の包括利益累計額合計	56,468
非支配株主持分	23,122
純資産合計	3,063,046
負債純資産合計	4,846,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	
完成工事高	3,694,241
環境開発事業等売上高	22,993
売上高合計	3,717,235
売上原価	
完成工事原価	3,123,297
環境開発事業等売上原価	8,925
売上原価合計	3,132,223
売上総利益	
完成工事総利益	570,943
環境開発事業等総利益	14,067
売上総利益合計	585,011
販売費及び一般管理費	238,671
営業利益	346,340
営業外収益	
受取利息	119
受取配当金	1,422
その他	1,660
営業外収益合計	3,202
営業外費用	
その他	1,399
営業外費用合計	1,399
経常利益	348,143
税金等調整前四半期純利益	348,143
法人税等	114,157
四半期純利益	233,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,136

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年7月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	233,985
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	9,849
その他の包括利益合計	9,849
四半期包括利益	243,835
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	238,986
非支配株主に係る四半期包括利益	4,849

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。